

尾州蟹江本町村

鈴木家文書

新田關係・其他

蟹江町歴史民俗資料館

尾州蟹江本町村

# 鈴木家文書

新田関係・其の他

## 目次

一、	鳥ヶ地新田 由緒書	1
二、	鳥ヶ地前御新田埋地並地慣シ之覚	53
三、	(鳥ヶ地新田)覚	61
四、	(明和三年鳥ヶ地前新田勘定書)覚	67
五、	(明和四年)亥年鳥ヶ地前新田勘定之覚	81
六、	海西郡鎌嶋新田並走新田 永久約定為取替証文	107
七、	(天保三年鎌嶋新田)一札	133

八、永久讓渡田地証文之事……………  
九、（宝曆八年奉公人元助）御請狀之事……………

付

①それぞれの文書毎に一、原文 二、原文写 三、原文読み下し 四、現代文 五、補説 の順にならべてあります。ただし、明和三、四年のそれぞれ勘定書には「原文読み下し」が省いてあります。古文書の読解に手間どりに、親しみにくい——ということから、試みたものです。

②紙面とところどころの余白へ本文に関連した現況写真を挿入しました。この文書が扱われた往年の旧態そのままのあとは少く、驚くほどの変 ぶりです。

③鈴木家は明治維新後姓を蟹江と改めました。本書に採録したものは何れも旧藩時代のもので、「鈴木家文書」とありますが、現在は蟹江家に保存されています。「蟹江家文書」と読み替えることもあります。

## はじめに

蟹江町歴史民俗資料館には蟹江家（旧鈴木四郎左衛門家）からは旧町立郷土館時代以来すでに多数の資料（武器・馬具・什器・衣服・生活用具・建築関係・防災用具等）や図書等貴重なものが寄贈寄託されております。

去る昭和五十七年度には旧海西郡鎌島新田（現海部郡弥富町鎌島）同鳥ヶ地前新田（現同十四山村場新田）等四ヶ村関係を主とし七十九点の古文書資料が新しく寄託されましたことは当資料館年報第四冊でお知らせいたしました。

右の両新田は鈴木家が蟹江本町村に居を移して以来の四、五代四郎左衛門によって十七世紀後半に開拓され、以後三百年あまり同家と深い関係を持ちつつけて近・現代に及んだことはよく知られている通りです。

近世以後江戸時代に及ぶ各地の新田の開発については、開拓の意義やその開発形態、維持経営を通して多くの論著があるかと思われませんが、右両新田についても例えば次の通りすぐれた研究報告に接することができます。

○近世前期における土豪の新田開発と経営

○江戸時代中期における土豪の土地経営

考地新田中書

高塘新田抄中記述之實

一 文貞六年辛巳年高塘新田抄中記述之

時小社又作區成所重信山事仍記五人根

山事在後所之儀花者中田也其山事之

寺可身只及全何能指之其山事也

續住持之山中五人根中住持八時後之山

仰身之山中後中事之信公之世也信公可也

多々地兼の部田御休 此格全

一口新田為中 哲志之

諸。 月滿地御休之 此格全

多々手有之 此格全 此格全

公年御休之 此格全 此格全

了之 此格全 此格全